

1. 視察・調査の経過及び感想について

(1) 高知県高知市 高知ぢばさんセンター 10/30(水)13:00~17:00 「全国市議会議長会研究フォーラム第1日目」について

開会行事に続き、基調講演「現代政治のマトリクス～リベラル保守という可能性」(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授 中島岳志氏)、パネルディスカッション「議会活性化のための船中八策」(コーディネーター朝日新聞論説委員 坪井ゆづる氏、パネリスト4名 高部正男氏:市町村職員中央研修所学長、横田響子氏:株式会社コラボラ代表取締役、古川康造氏:高松丸亀町商店街振興組合理事長、田鍋剛氏:高知市議会議長)と続いた。

基調講演の主旨は次のとおりである。

(1) 政治のマトリクス

・配分を巡る軸(リスクの社会化・リスクの個人化)と価値をめぐる軸(リベラル・パターン)で4つに分類できる。

(2) ラディカルデモクラシーとポピュリズム

・ラディカルデモクラシーは熟議デモクラシーと闘技デモクラシーがある。
・物語の重要性 ①2017年10月の立憲民主党フィーバー ②2019年のれいわ新選組フィーバー

(3) リベラルの逆説

(4) 保守とは何か?

○近年の日本における政治情勢に関して、具体的な事例や人名をもとに4つに分類し、保守とは本流とはといった観点からわかりやすく説明を受けた。

パネルディスカッションではコーディネーター坪井氏のコーディネートのもと、4名のパネリストが「議会活性化のための船中八策」というテーマで発言をされた。

高部正男氏

・市議会の現状と市民の反応

議会改革への取組の広がり～議会基本条例制定60.8% 議会報告会の開催53.7%

問題点 ①投票率の低下、議会への無関心②無投票当選の増加、議員のなり手不足

③議員構成の偏り、女性や若者の参加④政務活動費の不正使用や不祥事

*議会が何をしているかわからない。行政の追認になっている。

・今後の自治体議会のあり方(早急に検討すべき事項など)

①地方選挙の統一②兼職・兼業規制の弾力化③労働法制の見直し④議員の厚生年金加入

*政策立案機能の充実を求めすぎていないか。行政監視が中心となるべき。

横田響子氏

・議会に必要なこと

①20年後の住民は幸せかという観点②やりっ放しになっていないかという観点③若手、女性の参加。巻き込んで町を活性化する策。

・議会改革の具体的なアイデア

①人口減を前提に中長期的視点で街の目指す方向を議論②ガチンコ会議を多様な人材で実施③経験の機会提供

古川康造氏

・高松市丸亀町まちづくり戦略について

ライフインフラの再整備、車に依存しない歩いて事足りる街

商店街の役割は連携の「ステージ作り」→公共性に目覚める

*中心市街地では人口減少が著しい。議員活動(地域の要望反映)という点からすると中心市街地は厳しいが、市議会が市全体の課題として中心市街地の活性化に力を注いでも

らっている。その結果、活性化が進み成功事例として他からの視察もとても多くなっている。

田鍋剛氏

- ・高知市議会議員 議員定数34人（うち女性5人） 平均年齢58.6歳
当選回数別 1回：7人、2回：3人、3回：3人、4回：11人、5回：4人、
6回：4人、7回：1人、8回：1人
 - ・主な議会改革の取組について
- それぞれの立場からの発言であったが、議会の抱える課題とそれに対する対応、議会を市民のために活性化するための議論であり、議会への期待を感じることができた。

（2）高知県高知市 高知ちばさんセンター 10/31(木)9:00～11:00

「全国市議会議長会研究フォーラム第2日目」について

研究フォーラム2日目は、課題討議と閉会行事である。課題討議は昨日に引き続き「議会活性化のための船中八策」というテーマで、コーディネーター坪井氏のコーディネートのもと、3名の市議会議長・議員が事例報告・発言をされた。

＜滝沢一成氏＞（上越市議会議員、議会改革推進会議座長）

「市議を目指しやすい環境整備への提言」

- ・市議を目指しやすい環境整備検討会～ちょうど1年がかり
ホワイトボードミーティング、市民との意見交換会（2回）
5つの大項目（①市民と議会の距離を縮める②選挙の困難さの解決③物理的課題の解決④取り巻く環境の解決⑤女性特有の壁の打破）と19の小項目で構成する提言を提出。

＜久坂くにえ氏＞（鎌倉市議会議長）

「女性議員の現状の視点」

- ・課題 ①会議規則に出産が欠席事由として規定されておらず期間の明記もない。②会議の運営にあたって多様なバックグラウンドを抱える議員への配慮がない。
- ・環境整備に向けて ①出産に伴う議会の欠席に関する規程に、取得期間及び運用についての考え方を明記②子の看護休暇に関する規程の整備③配偶者出産休暇の取得

＜小林雄二氏＞（周南市議会議長）

「周南市議会の議会改革の歩み」

- ・平成15年の合併後議員報酬問題を巡り議会解散投票。
- ・議会改革の歩み ①市民により開かれた市議会（議会改革特別委員会の設置、委員会懇談会制度の創設・開催、議場リニューアル、こども議会を開催、本会議・委員会の傍聴者名簿の廃止など②行政監視機能の充実

○事例報告の後、コーディネーターにより追加質問、報告に対する具体的な活動や行政監視機能の充実などについて報告者から発言があった。

2. 視察・調査を終えて

「視察・調査の経過及び感想について」に載せたことはもちろん、他にも沢山のことを学ばせて頂きました。お忙しい中われわれのために対応して頂いた関係者の皆様、到着から出発まで「おもてなし」の心で細やかな心配りをして頂いたことに感謝いたします。

議会改革・議会の活性化は簡単ではありませんが、誰のための議会か、何のための議会かを見失うことなく議員活動・議会活動を進めることの大切さを再認識することができました。視察を通して本市に還元できることを取り入れ、市民の皆さんのお役に立てるよう精進いたします。ありがとうございました。

会派くらし 行政視察写真（令和元年10月）



10/30 研究フォーラム（高知市）①



10/30 研究フォーラム（高知市）②



10/30 研究フォーラム（高知市）③



10/31 研究フォーラム（高知市）①



10/31 研究フォーラム（高知市）②

